

障害者の生活安定のために

■障害者福祉計画の策定【民生費】（新規）336万円
（担当：保健福祉部 障害者福祉課）

障害者保健福祉に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図ることを目的とした「京丹後市障害者保健福祉計画」策定の基礎資料とするため、障害のあるかたに対して、日常生活の実態や福祉サービスの利用状況などの調査を行います。

○調査対象者 身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳を持っておられる在宅の障害者（者）のかた（約4千人）

○調査の方法 対象者全員に調査票を郵送・回収して、調査票の集計・分析を行います。（ただし、一部のかたには、聞き取り調査も行います）

○調査実施時期 4月～5月上旬の予定

■精神障害者地域生活支援センター整備支援【民生費】（継続）4,840万円
（担当：保健福祉部 障害者福祉課）

精神障害者のかたの生活支援の中核として、丹後2市4町で初めてとなる、精神障害者社会復帰施設「京丹後障害者地域生活支援センター（仮称）」の建設整備を進める「社会福祉法人みわやま福祉会」に対して建設事業費の一部を補助します。

●支援センターの概要

- 建設場所 峰山町新町地内
- 建物構造 鉄骨造平屋建て
- 建築面積 449.22㎡
- 施設内容 相談室、談話室、地域交流活動室など
- 竣工予定 平成17年8月末
- 業務開始予定 平成17年10月
- 利用方法 登録制

5 産 業

農 業

■環境保全型農業普及・実証プロジェクト【農林水産業費】（新規）304万円
（担当：農林部 農業振興課）

環境に配慮した農業生産を実現するための取り組みをします。（平成17年度～平成21年度）

●環境保全に配慮して、農業を正しく使用していただくために農家みなさんに啓蒙普及します。土壌の消毒などに使う農業の基本的な指針の策定や、「農業使用の手引き」をつくります。

●堆肥などを使った有機栽培の実践と普及をします。優良堆肥の開発やその堆肥を使った栽培の実証実験をします。

優良堆肥の生産のために、すでに「有機再生肥料利活用協議会」をたちあげており、有機堆肥を使用する人の立場から満足できる品質の堆肥を生産するための研究・開発体制を整えています。今後、このプロジェクトの実施により、減農薬、減化学肥料によ

る新しい農法の開発を進めていきます。

■茶生産振興対策事業【農林水産業費】（継続）2,222万円
（担当：農林部 農業振興課）

国営開発農地の新しい栽培作物として、お茶の栽培の導入を進めています。平成16年度から3年間の計画で、和束町の農事組合法人「百姓王国」が20%を目標に取り組んでいます。



平成16年度に久美浜町永留6団地で栽培されたお茶。雪にも台風にも負けず、元気に育っています。

主に、栽培農地の用水・排水設備や土壌の改良、苗木の購入をします。

現在、地元の生産者を育成するため、栽培研究会による研修会などを行っています。

国・府からの補助金	1,882万円
市の負担額	340万円

■パイプハウスの設置支援【農林水産業費】（継続）6,799万円
（担当：農林部 農業振興課）

農業の産地化や農家のみなさんの収入増加を目的に、京野菜や花を栽培するためのパイプハウスを設置する費用を京都府と市が補助します。



平成16年度に峰山町に設置したパイプハウス

対象となるのは、団体に限り、個人でのお申し込みはできませんので、農協の「京丹後市京野菜施設園芸部会」などに加入する必要があります。

●平成17年度の設置予定（平成16年度予算：90棟で7,760万円）

○京丹後市京野菜施設園芸部会	45棟
○網野花き生産組合（暖房機含む）	30棟
府からの補助金	5,613万円
市の負担額	1,186万円

京野菜とは、いにしえからの京都の伝統野菜で、みず菜、九条ねぎ、賀茂なす、万願寺とうがらし、えびいも、堀川ごぼうなど43品目。京丹後市では、みず菜、九条ねぎ、聖護院だいこんなどが栽培されています。

■農村振興総合整備事業【農林水産業費】（継続）3億7,875万円
（担当：農林部 農村整備課）

大宮町河辺地区で、ほ場整備を行います。（全体計画：平成16年度～平成21年度、総事業費7億3,000万円、約31.3%）



ほ場整備が計画されている大宮町河辺西部地区

これまでの小さな田んぼや、狭い農道を整備することで、大型機械が使えるようになり、農作業の効率や生産性が高まります。

また、ほ場整備にあわせて、地区内の一部に公共用地を確保して、住みよい地域づくりをすすめます。

国や府からの補助金	9,825万円
農家の負担額	2,100万円
換地清算するためのお金	2億2,725万円
市の負担額	3,225万円
（うち市債（市の借金）	2,300万円）

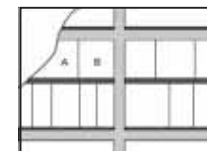
ほ場整備

日本の国土は狭くて山がちのため、農地区画は一つひとつ小さく、不整形となっていることが多いため、ほ場整備により農地の区画を整形することによって、効率よく生産性が高い農地をつくりあげるものです。



農地の形状が不整形で、道路が狭く、田んぼに入っていく道がないところもあります。さらに、用水路と排水路が、しっかり整備されていません。これでは、農作業の効率が上がりにません。

- ほ場整備施工
- 区画整形
- 用排水路整備
- 農道整備など



農地の形状がきれいに整形されています。農地すべてに広い道路がつけられ、用水路と排水路が、しっかり整備されています。これなら効率よく農作業ができます。

水産業
■地域水産物供給基盤整備事業【農林水産業費】（継続）1億1,003万円
（担当：商工観光水産部 水産課）

○事業期間 平成14年度～平成23年度
※今年度で4年目です。

○全体事業費 10億6,500万円

○場 所 網野町 浜詰漁港

○今年の内容 海が荒れていても生簀（いけす）から魚が捕れ、新鮮な魚が食卓へ届けられるよう、また漁業者が安心して漁船が係留できるよう、防波堤を建設します。漁獲の安定を図るため魚礁を沈設し、周辺の天然岩礁と一体となる漁場を造成します。



鋼製魚礁

国や府からの補助金	7,633万円
漁協などの負担額	19万円
市の負担額	3,351万円
（うち市債（市の借金）	3,000万円）

商工業
■金融・経済研究会の設置【商工費】（継続）64万円
（担当：商工観光水産部 商工振興課）

平成16年10月に、地元経済界や金融機関などの関係団体の代表により構成する研究会を設置して、金融面を中心とした市内の企業の育成や起業のための支援策について検討しています。

平成17年度では、さらに、経営拡大・新商品開発・新規創業を行う事業者に対する支援策や市内の業種ごとのネットワークづくりについて研究していき、市の施策に反映させます。

■経営支援金融事業【商工費】（継続）7,086万円
（担当：商工観光水産部 商工振興課）

市内の商工業者などが借り入れた事業資金にかかる信用保証料や利子の一部を補助します。市内の商工業者などの負担軽減に役立ち、経営の安定や事業の発展につながります。

○経営安定利子補給金 4,269万円
市内の商工業者が、京都府制度融資、政府系融資、京丹後市商工業振興融資に基づく融資を受けて、その融資に対して支払った利子の一部を補助します。
○信用保証料補助金 2,817万円
市内の商工業者が、京都府制度融資、京丹後市商工業振興融資に基づく融資を受けて、借り入れたときに京都信用保証協会に支払った保証料の一部を補助します。